

AABR		S115		
AABR		担当部署		
AABR		生理		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→新生児 AABR→新生児 AABR(保険)		
	2	電子カルテ→指示①→生理→新生児 AABR→耳鼻科 AABR(自費)		
	3	電子カルテ→指示①→生理→新生児 AABR→耳鼻科 AABR(保険)		
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		<p>1)騒音 (イヤークリップまたはカブラがフィットしていないと周りの騒音の影響で Noise レベルが大きくなり、検査に時間を要する。)</p> <p>2)筋電図 (寝ている体勢により首や額に力が入ってしまったりすると筋電図が発生し、EEG レベルが大きくなり、検査に時間を要する。)</p> <p>3)中耳内の耳垢、羊水 (生まれたばかりの新生児は、中耳内の耳垢や羊水の残留の影響を受けやすい。検査日を3日目以降に実施することにより要再検率を低くできる。)</p> <p>4)あくび</p> <p>5)咳、くしゃみ</p> <p>6)おしゃぶり</p>		
検査受付時間		8:45~17:30		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		<p>1) 自然睡眠中あるいは安静にしている新生児。</p> <p>2) 授乳後 30 分から1時間ぐらいが望ましい。</p>		
検体採取の特別なタイミング		授乳後 30 分から1時間ぐらいの自然睡眠中あるいは安静にしている新生児が適している。		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	新生児(耳)	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2				
3				
4				
5				
6				

7					
8					
検体搬送条件		ベッド可能			
検体受入不可基準		1) 体動が激しい新生児 2) 泣いている新生児 3) 検査に同意を得られない患者			
保管検体の保存期間		特記事項なし			
<b>検査結果・報告</b>					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		3 時間			
生物学的基準範囲		35dB パス/Pass			
臨床判断値		該当なし			
基準値				単位	特記事項なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		<p>聴性脳幹反応(auditory brainstem response ; ABR)は音の刺激に対する蝸牛、聴神経、脳幹、大脳皮質に至る求心性聴覚伝導路のニューロンの電気的な反応をみる検査である。聴性脳幹反応は音刺激から 10 ミリ秒以内にみられる蝸牛神経から脳幹部由来の反応で、特に短潜時成分は、蝸牛神経にはじまり脳幹の各中継核にその起源があることから聴性脳幹反応(ABR)という。ABR は脳幹の反応であり、覚醒、睡眠のような意識レベルの変化に影響しない反応であるため、新生児から高齢者まで広く末梢聴覚路や脳幹機能の検査に用いられている。この ABR の原理を利用し、自然睡眠中に短時間でスクリーニングできる自動 ABR(automated-ABR)が開発された。</p>			